

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

133711

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

地域自治組織・活動推進事業

担当部局・課

市民部
まちづくり課

事業内容

伊丹市自治会連合会へ助成を行い、地域組織の代表者と行政が連携を図り、先進事例の調査研究とともに、地域課題などの意見交換を行い、地域組織のあり方の検討を進める。

事業開始(予定)年度

平成16年度

事業終了(予定)年度

—

この事業の
上位施策

これから5
年間のまち
づくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

総合的なコミュニティ施策の推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

伊丹市まちづくり基本条例の施行に伴い、市民と行政、市民間の新しい参画と協働によるまちづくりを進めるための基盤づくりを行う。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 総務費
(項) 総務管理費
(目) 文化コミュニティ費

(事項) ふるさとづくり推進事業費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

平成18年度(予算)

事業費

300千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市債

—

その他(使用料等)

—

一般財源(市税等)

300千円

投入人員

0.60人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

投入人員

0.60人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

5,140千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

人件費

5,140千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

5,440千円

経費合計

5,140千円

活動指標

指標名(単位)

新しい地域組織数（組織）

計画と実績

年度

区分

H17年度

H18年度

意味・算式等

自主・自立した地域自治組織を全ての小学校区で再構築する

計画値

—

2

実績値

—

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。